

■米国：環境保護局長官が「クリーンパワープラン」を撤廃する提案に署名

2017年10月10日付の報道によると、同日、米環境保護局（EPA）長官であるスコット・プルイット氏が、オバマ前政権が電力セクターにおける二酸化炭素排出削減を目的に導入した CPP（クリーンパワープラン）を廃止する提案に署名した。本提案で EPA は、オバマ前政権が策定した CPP は、電力業界に石炭火力発電所の閉鎖を強要するような規制であり、EPA に付与された権限を越えていると主張している。同氏は10月9日、産炭地として知られるケンタッキー州で講演を行い、その中で CPP を廃止する方針を表明していた。しかし、EPA は CPP を廃止した場合、二酸化炭素の排出量を規制するかどうかについて決定を下しておらず、産業界からのコメントを求めることにしている。これまで EPA は、CPP の効果として各州で発電事業者の二酸化炭素排出量を 2030 年までに 2005 年比 32%削減できるとしていた。